

この感動を心に刻んで



題字・故 上野慧賢先生
発行所 駒澤大学高等学校
同窓会
正会員数 22,885名
東京都世田谷区上用賀1丁目
〒158-8577 TEL.3700-6131代
FAX.3708-7291
振替口座 0018-6-61881
http://www.komazawa.net
E-mail:dosokai@komazawa.net

同窓会創立五十五周年

記念総会・式典

平成十七年六月十一日、季節は梅雨。駒澤大学高等学校を今にも雨が降りそうな雲行き。午後四時定刻通り、創立「五十五周年」記念総会・式典並びに懇親会が開催された。

母校・新館地下ホールにおいて、式典開会が行われました。

同窓会会長・田上太秀より挨拶がありました。永き月日に渡るなかで同窓会員の活躍を誇り高く感謝し、未来に引き続いて社会に貢献を期待したい。

校長・浦敏之より祝辞を頂きました。母校の益々の発展と建設を願い、同窓会との連携を維持すると。

創立五十五周年記念品「防犯カメラ一式」を、母校に贈呈する目録が同窓会会長より校長に手渡されました。

同窓会名誉会長・大谷康恵に学校より感謝状並びに同窓会から記念品を贈呈。

永年に亘る同窓会要職を歴任され、今日の同窓会の姿を導いた偉業に。

永年勤続者の方に同窓会から記念品を贈呈。

四十年 小野 忠一
三十年 上 脇 正次

真間 馨

十年 土田 絵美

箕輪 由佳

渡我部 由紀

菊池 祐一

宮川 正史

柴田 真裕美

保健体育教諭・小野忠一先生より、代表挨拶をいただきました。

これにて式典・式次第が無く予定通り終了しました。小休止をはさんで会場を小体育館に移し、午後四時五十分より懇親会を開会。

懇親会挨拶を、同窓会名誉会長・大谷康恵より会場正面の舞台から発声。同窓会の発展と会員のご健勝を祈願。

乾杯の音頭は、第一期生で同窓会役員・原正男から頂き、会場を埋めた同窓生・恩師ら乾杯の発声に唱和、和やかに懇親会が始ま



りました。当日午後五時過ぎに関わらず、会場に馳せ参じる同窓生。会場の各テーブルでは微笑顔の記念撮影。立食形式ではありましたが、料理と飲み物が飛ぶように消え、舞台では参加者の思い出しが花咲き、賑やかな歓談の声は渦をまいて会場を明るく包んでいた。楽しい時ほど予定時間はアツという間に超過。ついに、懇親会の最終章・校歌斉唱となりました。

同窓会初代会長・飯野校男の指揮を仰ぎ、若かりしあの頃を胸に抱き声高々に「新人立てり」と歌いそして終わつた後、会場は拍手がなかなか鳴り止まなかった。

恩師の嶺金治から祝電をいただきお披露目した後、懇親会の閉会となりました。次は五年後の六十周年。お会いできますよう元気で、ありがとございました。

開校六十周年を 迎える準備

校長 浦 敏之



厳しい状況の中に置かれていても、私立学校は少子化でも暗い経済状況の下でも自助努力で生き残らねばなりません。そのためには魅力ある学校、受験生とその保護者が望む学校をいかにして作ってゆか、これが大きな鍵です。わが校には(一)付属であること、(二)宗教のバックボーンがあること、(三)教員の熱心な指導の下で部活動が盛んであり、成果を上げていること。(四)共学であること。等々の売りがあります。また交通の便がよく、神奈川県からも東京都からも通学しやすい位置にあることなども助かっています。しかし、それだけに頼ってはいけません。以上の発展は望めません。昨年と今年ではレベルを変えて実行するだけのアイデアを加味する能力と気迫がなければなりません。今まで通ったことが今年に通用しないくらいにめまぐるしく変化し、競争しているのが今の教育界です。いまや私立同士の戦いに公立高校が参入し、熾烈な戦いが始

まっています。

本日は始業式であり、新形式でした。式終了後の教室では、受験クラス設置後初めての三年生はセンター試験を前に緊張した面持ちでした。生徒たちには日ごろ培った力を存分に発揮できる様に万全の状態に試験に臨むように伝えました。付属高校であつても他大進学者に対するケアは必要です。また、生徒募集上、他大進学実績は有効な宣伝となります。教育面でも日々改革をしてゆかねば他の高校から置き去りにされるでしょう。

昨年、同窓会の五十五周年記念総会が終わりましたので、我々は開校六十周年記念事業に着手いたしました。平成十七年夏には懸案でありました耐震工事をいたしました。昭和四十一年駒沢の地より越してきました。びかびかの校舎に満足したものでした。それ以来四十年が過ぎ、あちこち不具合が出てきました。一番の課題でしたが何とかクリアできました。

平成七年より男女共学となりました。西側と東側のトイレを男子用と女子用に分けていましたが、ここ二年間女子生徒の数が増加しています。また、洋式トイレに代わった生徒たちには和式トイレだけでは対応できなくなりました。そのようなわけで十八年の夏休みにトイレの改造をし、生

徒のニーズに合うようにしたいと考えています。

野球部とソフトボール部、ハンドボール部を中心に放課後のグラウンドは満杯です。しかし、雨が降ると二三日は使えなくなります。体育の授業もできないためトレーニングルームでの授業や教室での自習が増えてしまっています。この状態を何とか改善して、雨がやめばグラウンドを使えるようにしたいと考えています。現在のところどのような改善策がよいか検討中ですが、何らかの方策を探りたいと思います。

本館の内部が破損しているところが目立ちますので手入れをします。壁や床の破損は生徒の心をかさかさにする原因のひとつとなります。手入れの行き届いた校舎で、身も心もすがすがしい思いで学習活動に励めるようにしたいと考えます。

新館・別館・体育館の外壁も老朽化が目立ちますので塗り替えが必要です。新館の第一AV(視聴覚)教室の機器の老朽化や地下ホールの状態も放置できなくなりました。これらの工事を年次ごとに行い開校六十周年の平成二十年に完成させる予定です。

現在六十周年記念募金を行っております。日本経済に明るい兆しが見え、株が元気に戻ったとはいえ、まだまだ厳しい状況であることには間違いないと思います。そのような時に恐縮ですが、学校法人に対する寄付ということで、税制上の軽減措置も取れるようにしてありますので、ご協力を願います。

(十三期B組)

58回 駒大高祭



文化公演会

一年G組 松本 愛華

文化公演会と聞いて、プログラムをまともに読んでなかった私は、誰かの『講演会』だと思っており最初はだらけぎみでした。

照明が消え、幕が開いて、ふと見ると目がさめるような白いきらびやかな衣装と、想像以上に深く力強い歌声に、とてもびびりました。歌っているのは駒澤大学の卒業生である黒木悦子さんという方です。歌の合間にいろいろな話をしてくれて、なじみやすい人でした。黒木さんが作詞した曲はどれもおもしろいものばかりで、特に良かったのは、若月先生に向けてのメッセージでした。恋人同士という設定の歌詞を先生に向けて歌っていると、若月先生の意外な一面も見れて良かったです。次に歌った大きな古時計も良かったと思います。確かにしっかりと聞けば秋田の方言だと分かるけど、フランス語だと言われて聞いたら絶対分からないうと思いましたが、のぼすところの音が小さくなるどころか逆に大きくなるところがすごいと思いました。

平成17年度 役員

会長

田上 大秀 (4期)

副会長

真田 治孝 (5期)

浜田 好晃 (8期)

高木 恒一 (16期)

庶務 黒木さんもすごいと思う一方でピアノも迫力があってすごいと思いました。私もピアノをやっている、大勢の前で弾くなんていったら途方もなく緊張してうまく弾けないものだと思います。でも、そんなことは微塵も感じさせないような堂々とした演奏で感激しました!!

麻務

原 正男 (1期)

涌井 清 (19期)

荒井 伸夫 (20期)

真間 響 (21期)

玉置 和夫 (27期)

宮本 博一 (27期)

馬場 元司 (31期)

井上 誠二 (33期)

石川美由紀 (48期)

会計

妻倉 由明 (16期)

日吉 明廣 (19期)

大石 智子 (事務)

会計監査

宮田 利徳 (15期)

吉野 信行 (28期)

名譽会長

大谷 康憲 (3期)

相談役

秋山 彰三 (1期)

特別顧問

浦 敏之 (校長・13期)

顧問

鈴木 貞雄 (教頭)

大内 勝蔵 (事務長)

小野 忠一 (総務部長)

井上 保宏 (教務部長)

宮 健二 (校友会主任)

常任幹事

市川道太郎 (1期)

菅原 信昭 (2期)

坂井 茂 (4期)

清水 俊一 (7期)

「同窓新報」編集委員会

委員 荒井 伸夫 (20期)

委員 原 正男 (1期)

委員 真田 治孝 (5期)

吉沢 道雄 (10期)

渡辺 幸一 (16期)

石渡 進 (17期)

前田 光俊 (18期)

丹野 滋夫 (20期)

辻 克治 (21期)

山根 真一 (23期)

栗山 和美 (24期)

小林 正行 (27期)

宮沢 新一 (29期)

野口 直正 (30期)

北見 英之 (32期)

松本 盛一 (33期)

田中 秀一 (34期)

相宮 潤 (35期)

石原 透 (36期)

川端 健介 (38期)

岡本 勝男 (39期)

羽場 敬仁 (40期)

山口 拓 (41期)

成田 義孝 (42期)

安仲 聡 (43期)

行廣 剛 (44期)

佐藤 衛 (45期)

塩津 順平 (46期)

井上 智晴 (47期)

菅谷 正和 (49期)

上原 圭太 (50期)

石井 瑞希 (51期)

木村 紀子 (52期)

村 真理子 (53期)

武島 実佳 (54期)

齋藤 典明 (55期)

幹事 三三四名 (53期)

岩淵 正人・中條 淳

村松三四郎・富田 正夫

菅原 麻未・高橋 俊幸

吉松 康太・石井 祐貴

藤澤 裕太・日下部徳俊

外間 達也・細井浩一郎

野球場

吹奏楽部

野球部

打撃用ティーンネット



贈呈式

野球場 打撃用ティーンネット

吹奏楽部 「ピッコロ」

贈呈式で二年H組、五十嵐小百合さんがすばらしい演奏を披露してくれました。

野球場・吹奏楽部より一層の活躍を期待しております。

平成十七年度 クラブ助成

同窓会では母校の部活動の支援するため、毎年、助成活動を行っています。平成十七年十二月二日(金)に、母校で田上会長より贈呈しました。

妻倉 由明 (16期)

高木 恒一 (16期)

日吉 明廣 (19期)

馬場 元司 (31期)

石川美由紀 (48期)

石井 瑞希 (51期)

木村 紀子 (52期)

村 真理子 (53期)

平成十八年度 (五十六期) 新幹事です、よろしく

お願い致します

常任幹事 太田 育郁 (C組)

幹事 林 綾乃 (A組)

渡辺 友里絵 (A組)

関口 優理 (B組)

太田 育郁 (C組)

針谷 淳 (D組)

土本 大樹 (E組)

佐藤 佳成 (F組)

藤井 智絵 (G組)

荒井 幸枝 (G組)

齊藤 一成 (H組)

長島 修人 (I組)

西塚 宗一 (J組)

武本 宗一 (J組)

針谷 淳 (D組)

太田 育郁 (C組)

林 綾乃 (A組)

渡辺 友里絵 (A組)

関口 優理 (B組)

太田 育郁 (C組)

針谷 淳 (D組)

土本 大樹 (E組)

佐藤 佳成 (F組)

藤井 智絵 (G組)

荒井 幸枝 (G組)

齊藤 一成 (H組)

長島 修人 (I組)

西塚 宗一 (J組)

武本 宗一 (J組)

針谷 淳 (D組)

太田 育郁 (C組)

林 綾乃 (A組)

渡辺 友里絵 (A組)

関口 優理 (B組)

太田 育郁 (C組)

針谷 淳 (D組)

土本 大樹 (E組)

佐藤 佳成 (F組)

藤井 智絵 (G組)

荒井 幸枝 (G組)

齊藤 一成 (H組)

長島 修人 (I組)

西塚 宗一 (J組)

平成16年度 駒澤大学高等学校同窓会収支計算書 (収入の部) Table with columns: 項目, 予算額, 決算額, 備考

平成16年度 駒澤大学高等学校同窓会収支計算書 (支出の部) Table with columns: 項目, 予算額, 決算額, 備考

平成16年度 駒澤大学高等学校同窓会収支計算書 (注) Table with columns: 項目, 金額

平成16年度駒澤大学高等学校同窓会収支計算書について監査を行った結果、妥当且つ適正であることを証明します。

平成17年度 駒澤大学高等学校同窓会収支計算書 (収入の部) Table with columns: 項目, 前年度予算, 本年度予算, 備考

平成17年度 駒澤大学高等学校同窓会収支計算書 (支出の部) Table with columns: 項目, 前年度予算, 前年度決算, 本年度予算, 備考

恩師の肖像

思い出の

四十三年間

教諭 広谷 五郎



昭和三十八年四月、駒澤大学高等学校に奉職し、平成十八年三月、定年退職を迎えるにあたり原稿依頼があった。自分自身としては、現在一年生の担任をしているので毎日毎日が生徒指導に明け暮れる為か、実感が湧いてこないのが現実である。

四十二年間と云えば、自分の人生の四分の三に当たるが、その間七代の校長に仕え、教え子も二万余になる。なんと言っても一番の思い出になるのは、奉職二年目に日本で開催された東京オリンピックである。仕事柄、バレーボールの役員として駒澤大学体育館の会場にて各国代表の会場係りとして務めた。特に日本代表(東洋の魔女)などソ連(現ロシア)チームの練習会場にも割り当てられ、大松監督率いる全日本チームの練習も十分見学する事が出来た。女子決勝戦も駒沢競技場に於いて超満員であったが役員

関係上観戦することが出来全日本選手がオリンピックで優勝するという歴史的瞬間に遭遇する事が出来た。自分もバレーボールの指導者になりたいて思っていた矢先、当時バレーボール部の監督であった宮澤栄作先生(平成十七年一月死去)が大学の教員になる為、私が後任として顧問になった。宮澤先生が本校のバレーボール部の基礎を造り上げて初めてのインターハイも代表として出場させてくれた。このバレー部の伝統を築き強いチームにして行かなければとの思いで、日夜眠れぬ日もあったが良き先輩にも恵まれ相談相手になってもらった。その後現在まで全国大会出場二十八回と優勝はないが、第三位他、関東大会優勝等、駒大高校バレーボール部の名を汚す事無くここまでやって来られたのも宮澤先生を初め、後任の戸田先生や何よりもそれぞれの年代のOB諸氏の力が非常に大きかったと思う。又、退職された教諭各位、現教諭員の皆様方の力添えも大変な励みになった。平成十年度より本校も少子化対策の一貫として、男女共学が実施され、現在に至っているが今思うに、男子のみのパンカラス生徒達と過ごした日々が大変懐かしく思えてならない。共学のメリットも十分承知しているが、デメリットの方が多いような気がする。しかし十年経た今後教職員一丸となって生

心に床の間

教諭 京 滝 隆 司



同窓生の皆様方にはお変わりなく益々ご健勝にてご活躍されていることと拝察致します。一九六四年(昭和三十九年)アジアで最初に開催された東京オリンピックの年に本校に赴任して以来四十二年の年月を経てこの度、教師生活に終止符を打つこととなりました。上野憲賢元校長先生の下に仕えてから浦敏之現校長先生まで数多くの教職員・同窓生の皆様の温かいご指導を受け賜わりながら勤務してこられました事を心から感謝致しております。

かれました。ああそうだな？子供たちも巣立ち、仕事もなし遂げた後私たちは新たな人生を考えなくてはなりません。いわゆる第二の人生を、明るく充実したものにするにはどうしたらよいのでしょうか。老いる自分と向かい合い残りの人生を心豊に過ごすために、私たちがすべきことを考えてみます。

あるお茶碗を購入したとき、そのお茶碗には陶工の先生が挨拶として、「私たち陶工は未完成のまま皆様のお手元にもらっていたできます。釜から出て形としてはできあがっているけれども未完成です。最後の仕上げはお客様次第」という味のある言葉が書いてありました。それはこのお茶碗を使う人がいかに大切に使うかつまり、丹精ということになるのです。それと同じように毎日自分の人間性を丹精することが、私は後半の人生においても大事なことでと思います。生まれたときは、本心に綺麗な心で生まれてきます。ある哲学者がいった「旅は出発地へ戻ること」という言葉があります。どんな楽しい旅でも我が家へ戻ってこなければこれは楽しかった旅とはいえません。人生もまた出発地へ戻ることになるのでしょうか。そのためには帰るとき来たときよりも美しく生まれきたときと同じように綺麗にして逝きたいと思っています。「心に床の間」をもとう。心に床の間をもつことは、考える時間をもつこと大切です。この時間をもつことが大切なことだと思います。そこは床の間のある部屋ですか「ゆっくりと」……

お別れの言葉

教諭 田 島 宏 樹



定年まであと三年ありますが、平成十八年三月で退職いたします。昭和四十三年四月から、三十八年間の勤務でした。昭和四十三年は駒澤大学高等学校開校二十周年、私が二十三歳のときでした。あと二年で開校六十周年、

終わりに駒大高校及び同窓会の今後益々の発展と皆様のご多幸を心からお祈りしてお別れの挨拶と致します。(公民科)

益々、母校への皆様のご支援をお願い致します。私もやつと卒業(中退かな)、皆様の仲間入り、よろしくお願い致します。

駒澤大学高等学校と、同窓会の更なるご発展を祈念し、お別れの言葉と致します。有り難うございました。(理科)

退職に際して

教諭 田 中 光 弘



駒大高の卒業生が駒大高を訪れることがよくあります。母校に訪れ、教わった教員

達と話をしていてる姿をよく見かけます。そういう時の彼らの顔はとても楽しそうです。母校を訪れるということ、懐かしいことなのだと思います。

私も今、そういう思いを胸に抱いています。私は四月から横浜市立の公立校で教鞭をとります。横浜は私が生まれ育った地です。教員として横浜に戻ることは、それだけで嬉しく、懐しいことです。私が教わった地で、今度は私が教えます。これは私の夢の一つであり、また恩返しでもあると思っています。

六年間という短い間でしたが、様々なことを学ばせて頂きました。本当にありがとうございました。これからも日々精進して参ります。(国語科)

母校に奉職して

非常勤講師 田 中 大 輔



私は最近、また水泳を始めました。私は泳ぐことが好きです。水の中に身体を沈めていると、まるで魚になったかのよう感じるからだ。魚という言葉で、すぐに思い浮かぶものがある。鯉である。私は鯉

が、道は決して平坦ではなかった。駒澤大学に進学したものの、卒業後はフリーターに。私の知る限りでは、この高校でフリーターの経験を持つ教員は、私だけである。不名誉なことであるのと同時に、世間の厳しさを肌で感じてきた、という小さな自負もある。鯉は、川でその生を受け、海へ出る。そしていつか、自分の生まれ育った川に戻るという。思えば、私が教職を志したのもこの高校であった。広い海を泳いで来た者として、一教員として、生徒にとって価値のある教員であり続けたいと思う。(国語科・四十八期「組」)



平成十七年七月十一日(月)にデンマーク・ボーリング体育学校の方々(総勢三十九名)が来校し、デンマーク体操発表会が開催された。



デンマーク体操発表会

清水修 二(二十四期F組)

今回の来日は同窓生の清水修二氏(デンマーク・ボーリング体育学校主任教師)が引率し日本各地で発表会を開催し好評を博した。

質問 デンマーク体操について詳しく教えて下さい。

デンマーク体操の歴史は古く、一八〇〇年代になります。現在の基となる体操は、

今、それがきっかけで体操を始め、卒業後、国士舘大学体育学部に進み、体操を続けさせて一九七八年に、デンマークに留学しオレロップ体操学校で、デンマーク体操を始め

質問 デンマーク体操を始められたきっかけを教えてください。

オレロップ体操学校のニールス・フックが考案し、日本はもちろん世界各地に紹介されました。ラジオ体操の原型にもなっており、幅広く愛好されています。

三十五年前に駒大高校と出会い、開拓精神が道を開くように、そして、新しい場所には、新しいチャンスがあると思えば毎日楽しく充実した明るい日々だったことを思い出します。

質問 駒大高校時代の思い出をお書き下さい。

ました。

衆院選・比例南関東ブロック

浮島敏男氏

(17期・E組)

初当選!!

家族に「勤務先永田町に変わるだけ」

■名前貸し当選

自民党の比例南関東ブロックでは、36位で名簿に登載された党神奈川県連事務局長浮島敏男さん(56)が最後に滑り込み、思わぬ初当選を果たした。

清涼飲料会社社員を経て、81年から党県連に勤務。92年に事務局長に就き、裏方に徹してきたが、候補者数に応じて認められる選挙力一を3台確保するため、党本部から「各県連幹部は名前を貸してほしい」との要請があり、名簿に名を連ねた。

投票日は、横浜市中区の党県連で情勢報告を受けている中、12日午前1時ごろ、自身の当選を伝えるテレビのテロップが流れた。集まっていた真議らが万歳

三唱したものの、浮島さんは「想定外。家族はもう寝ているだろうし、当選も知らないのでは」と困惑した表情。小泉首相の飯島秘書官からは「辞退はしないように」との電話があったという。

家族には12日早朝、当選を報告。驚いて新聞で確認する家族に、「働く場所が永田町に変わるだけだ」と

当選を祝って知人と話す浮島さん(午前9時、自民党神奈川県連)



読売新聞 2005年(平成17年)9月12日(月) 夕刊・19面より

都議会議員選挙に(二人)当選

平成十七年七月三日(日)に行われた東京都議会議員選挙において同窓生二人が当選されました。都議会での活躍を期待しております。

江東区より・復帰

大沢 昇氏(三十三期J組)



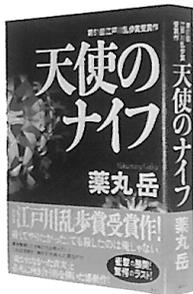
世田谷区より・初当選

山口 拓氏(四十一期E組)



第五十一回江戸川乱歩賞受賞

薬丸 岳氏(三十八期F組)



社団法人日本推理作家協会・主催、講談社・フジテレビ後援の江戸川乱歩賞に薬丸

岳氏が、「殺してやりたかった。でも殺したのは俺じゃない。妻を惨殺した少年たちが死んでいく。これは天罰か、誰かが仕組んだ真実なのか。」「裁かれなかった真実」と必死に向き合う男を描いた感動作!衝撃の展開!驚愕のラスト!選考委員が満場一致で推した作品『天使のナイフ』で、受賞した。



高川(左)・中堀(右)組

天皇杯・V6(六回目)

第六十回天皇賜杯 ソフトテニス全日本選手権大会

高川 経生 氏

(四十一期G組)

平成十七年九月二十三日、二十五日・神奈川県厚木市営南毛利テニスコート他で、厚木市政五十周年事業として開催された。記念すべき六十回目の大会で、高川経生氏が台風十七号接近にともなう断続的な降雨のなかで、また最

最多優勝記録の五回に並び、新記録(六回)は時間の問題と思われていたが、ペアの故障などで、まさかの敗退。「これが最後のチャンスかもしれない」「炎のような集中力と気迫をみながら、V6の栄冠を勝ち取った。この記録を塗り替える一番近い存在は彼らである。是非V7を達成してほしい。ベースボールマガジン社発行・ソフトテニスマガジン十二月号より (文・写真「抜粋」)

会員だより

わの広場

父として 教師として

近況報告にかえて

村松 哲文

(三十六期K組)



ここにひとりの父親がいる。

彼は自分の頭の中で考えた父親像を必死になって現実のものにしようと試みた。しかし、現実とは空想とはいじりしく異なったものである。子どもは生きており、日々成長し、人格を持ち、つぎつぎと驚くべき問題を父親に提出する。

たとえばこの父親は一年も自分で赤ん坊を風呂に入れ続けるほどに子育てに熱心である。

七年四月、駒沢大学仏教学部に美術史の教員として就職した。

父親と赤ん坊のかような事例を比喩として用いるなどは、いささか語弊があったかもしれない。だが、駒沢大学における自分について語るとき、ひとりの教師が生まれ、育つてゆく過程のただなかにあるということだけは、はっきりと言えよう。私は家庭の中にあっては父親であり、大学にあっては教師である。些末なことにはびくともしない自信がある。

大学の教師とは、研究室を持つ一家の主である。教師としての責任をしっかりと担い、堂々と力強く自らの研究の行く手を切りひらき、つぎの世代を育てる。これが教師の誇りである。その腹は大海のごとく、己の学生の悩みをすべて飲み込み、その胸は火山のように学問に対する熱き思いを宿している。

しかし、大学教師も一朝一夕にはそのような教師になるものではない。私は教師として学生にいろいろのことを教えるが、実はそれを教えさせる

訃報

元副校長(第一代)水野弘元 先生



平成十八年一月一日、慢性呼吸不全のため逝去。一〇四歳。先生は明治三十四年十一月、佐賀県鹿島市の出身で、

昭和三年三月東京帝国大学文学部印度哲学科卒業。昭和四年四月、東京帝国大学文学部嘱託および世田谷中学校教諭となり、その後、駒澤大学講師、駒澤大学教授、駒澤大学予科長、東京大学文学部兼任講師、慶応義塾大学兼任講師、東京大学文学部専任教授を歴任し、昭和四十三年一月、駒澤大学仏教学部長、同年九月より駒澤大学副学長、昭和

五十七年から駒澤大学総長となり、昭和五十八年三月退職された。駒澤大学名誉教授・文学博士、専門はパーリ語伝教学。この間、昭和二十四年四月、駒澤大学高等学校副校長となり昭和三十四年三月まで在職した。戒名は「天祐寺四十二世大外弘元大和尚禪師」。合掌

多聞 関催報告

- 平成十六年 五十一期A組 (中島勝彦先生) 八月四日(水) 渋谷 代表(石井瑞希)
- 三十一期C組 (宮 健二先生) 十一月二十日(土) 箱根湯本 代表(平沢正一)

平成十七年

- 三十一期C組 (宮 健二先生) 三月六日(日) 「川崎国際CCC」 代表(平沢正一)
- 四十六期J組 (佐藤 正先生) 一月二十二日(土) 渋谷「鹿鳴館」 代表(山田真裕)



駒大高校を卒業して、まる五年という節目を機にクラス会を開きました。このクラス会に至るまでの間、田島先生を始めクラスのみんなの協力があって迎えることができました。事を改めまして、御礼申し上げます。このクラス会を通じて、みんなが先長い人生の「何かのきっかけ」になって頂ければと思いついた。社会に出た人・学生とし



- 五十期A組 (田島宏樹先生) 二月十二日(土) 渋谷「バハマール」
- 四十八期H組 (山田 勲先生) 三月五日(土) 渋谷「すきずき」
- 報告(板垣照生)

スタート時は十六名でしたが、続々と遅刻者が到着し、予約よりも増えてしまったが寿司詰め状態の部屋で、距離が近かったため、七年ぶりの再会にしては盛りあがってました。山田先生が退職されることもあり、涙のクラス会になるかと思いきや、終始笑いの絶えない思い出深い夜となりました。二次会も、そのままでの人数で「つば八」へ。大盛況で、幹事万々歳!!

報告(花見歩)

五十三期E組
(山田 勲先生)
三月二十二日(火)
渋谷「moonsoon cafe」



今回のクラス会は、もう少し人が集まると予想していたのですが、皆予定が合わず、半分の人数でのクラス会となりました。山田先生にも来ていただいていた楽しんでいただけたいと思います。一次会、二次会とも来ていただき、演歌を熱唱していただきました。今後モクラス会を開催していこうかと思いますが人が集まる

かがとても不安です。けれどもいくつ年をとっても続けられるクラス会にしていこうと思えます。

報告(森 一憲)

五十四期K組
(井上誠二先生)
四月二日(土)
渋谷「甘太郎」



卒業から約一年、久しぶりに「井上組」が集まりました。先生とはもちろん友達同士も久しぶりの再会だったので、近況報告や思い出話で盛り上がりました。井上先生は担任だった時と変わらず人生のためになる話をたくさん聞かせて下さいました。本当にあっという間に解散の時間になってしまい寂しい気持ちもありましたが最高のクラス会だったと思います。

報告(鈴木沙織)

二十二期A組
(京滝隆司先生)
四月十六日(土)
用賀「木曾路」

私達のクラスは一クラスの商業科で三年間同じメンバー・担任の先生の先生のもとで過ごし、まとももありました。

商業科ということもあり、近隣の自営業者も多く、普段から一部の人が友好を深めていて、そんなおり、クラス会実施の音が上がり、実施に至りました。

クラス会開催内容は先生の挨拶・故人黙祷・各人の自己近況報告紹介・卒業アルバムや前回のクラス会時の写真・当時の写真等を閲覧しました。更に名簿や近況記入チェック表も回覧しました。

昭和四十七年卒業以来、実に三十三年目に入りました。思えば当時、青春の時期にそれぞれが部活や商業専門科目/簿記・珠算・商業実践(特に街の市場調査)等や永平寺参拝並びに修学旅行等を皆で過ごし、多くの思い出が各々あったと思います。

その面影がそのまま時を経て、当日再会し、それぞれの表情がムーブされ、不思議な時代の流れを感じました。偉くなった者、地道にコツコツタイプ、当時悪ぶれた者も一同に会して、それが関係なく(こだわりの持たない)意見を言い合える世界となり、ともすれば大きな変化の



無い仕事や生活の中、それれにとつての有意義な時間を過ごすことができたと思えます。今後今回の欠席者へ参加をうながしに加え、住居不明者の所在・近況を各々が可能な限り調べ、次回のクラス会に多くの参加者が集うことを願います。

報告(根笠 浩)

三十四期K組
(井上保広先生)
五月二十一日(土)
渋谷「清流初つばみ」



今年は一人名づかしい顔が戻ってまいりました。来年もなつかしく、新しい顔が増える事を願っております。

報告(外山朋矢)

五十期I組
(浜田敏明先生)
八月二十六日(金)
用賀「養老の瀧」

毎年恒例の一組クラス会を行いました(毎年八月第四金曜日に開催予定)。私自身は、二年ぶりの参加となりましたが卒業してから五年も経ったとはとても思えませんでした。一つ大きく感じたことは、様々な方向で、いろいろな形

で活躍している仲間と話をすることで、学ぶことがたくさんあるということです。いつまで経ってもお互い、学び合う仲間なんだと実感しました。

報告(亀田雅人)



三十一期C組
(宮 健二先生)
十一月十二日(土)
箱根「水明荘」

毎年、秋のこの時期に、同じ場所でのクラス会を開催しています。ホテルの人や仲居さんともすっかり顔見知りとなり、気持ちよく一夜をすごせます。宮先生を囲み、昔話に花を咲かせ、夜遅くまで盛り上がり、新年会、ゴルフコンペなど来年の予定もきっちり決め、再会することを楽しみに、散会となりました。来年は十五回目のクラス会です。入宮先生の還暦のお祝いでも以上に盛大に行いたいと思います。

報告(平澤正一)



平成十六年
地理研部

(佐藤 正先生)
深谷 元先生)
一月十五日(土)
桜新町「胡麻屋」



今年もまたなつかしい顔との再会ができました。いつもの顔。(OOB)言葉をかかわせば気持ちいのはや駒大高の地理研の仲間。巡検の話から当時のこぼれ話まで、次から次へとつ

OOBの幹事さん

同窓会では同窓生の親睦・交流を目的に、クラス会やOB・OGの開催に一万円の助成をおこなっています。詳細や申込は事務局の高木までご連絡下さい。多数のご利用お待ちしております。

きたことない話にはすぎました。二次会にも花が咲き、本当に楽しいひと時をすごしました。駒大高校いつまでも!地理研OOB会いつまでも!!

報告(石渡 進)

テニス部
(中島勝彦先生)
上藤正次先生)
十二月二十五日(日)
用賀「和民」
夏合宿以来の集合となりました



平成十七年
ラグビー部
(玉置和夫先生)
二月十一日(金)
「駒大・玉川校舎ラグビートグラウンド他」
代表(葛西 功)

卓球部
(横山 汪先生)
四月十日(日)
「母校小体育館」
年々OBの方々の出席者が増えてきました。近年出席されていないOBの方々へOB会は毎年四月第二日曜日が原則です。多数の出席をお待ちしております。

報告(千谷真市)

学園だより

耐震工事

平成十七年七月下旬から八月末の夏休み期間で耐震工事が行われました。

この工事は地震による崩壊を防ぐ目的で本館内部に鉄骨をいれました。写真 参照

また、図書室も本館二階から新館四階に移転しました。



鉄骨工事

工時



本館完成



サッカー部
父母会より
6月11日

マイクロバス寄贈

校友会だより

同好会から部に昇格

女子ソフトテニス部・主将

三年D組 青塚 由佳利



かなりたいという競争心が芽ばえ、個々の意識が強くなりレベルが上がっていききました。また、人数が増えたことで、協力や信頼が生まれまし

た。先輩が引退した後、部活動をより盛んにしようと、新入部員集めを熱心に取り組みました。

努力の末、平成十六年四月には新入部員が増え、最終的に部員が十三名になりました。

新入部員には経験者が多かったため、試合に勝つという喜びを知るようになり、練習を工夫することで練習内容が濃くなっていき、試合で良い結果を残せるようになっていきました。そして、平成十七年四月に同好会から部に昇格しました。

平成十七年のゴールデンウィーク明けに、一年生が六名入部しました。やっと念願の一年生から三年生まで揃いました。

「にっこり楽しく練習し、にっこり楽しく試合する。だ

けど勝たなきゃいかん。」をモットーに、現在、二年生十名と、一年生六名で週六日間の練習で、さらに試合で勝ち、上に進もうと熱心に練習を取り組んでいます。

今後共、皆様の暖いご支援とご援助をお願いいたします。

駒澤大学に

新学部

(GMS)

開設

短期大学・

国文学科と

英米文学科の

募集停止

平成十八年四月より「メディアとコンテンツの本質を使いこなす」「ネイティブ教員による実践的な英語教育」を

目指してグローバル・メディア・スタディーズ学部(地球規模の問題解決に取り組む未来志向の新学部)が開設されます。

母校からもGMS学部に第一期生として三十一名の生徒が推薦にて進学します。

また、短期大学の国文学科と英米文学科が平成十九年三月をもって、廃止されます。

全日本高等学校吹奏楽大会・出場

吹奏楽部

十一月十九日(土) 神奈川県横浜市「神奈川県民ホール」

六月三日(金)～五日(日) 群馬県前橋市「群馬県総合スポーツセンター」

陸上競技部

4x400mリレー

三年D組五味良介君

二年E組安居院広道君

二年K組二見駿吾君

八月一日(月)～四日(木) 千葉県白子町「サニーテニスコート」

国民体育大会・出場

ソフトテニス部

三年A組木虎 誠君

二年K組二見駿吾君

一年A組河野康啓君

十月二十二日(土)～二十七日(木) 岡山県岡山市「浦安総合公園テニスコート」

ソフトテニス部

三年A組木虎 誠君

二年K組二見駿吾君

九月二日(金) 東京都渋谷区「国立代々木第二体育館」

ソフトテニス部

三年A組木虎 誠君

二年K組二見駿吾君

宗内生

(鈴木純行先生)

六月二十七日(月)

渋谷「美食台所・糀や」

鈴木純行先生が駒大高校に奉職されてから、十七年という年月が経過したそうです。その間に仏教専修科生として教えをいただいた人の数は述べ百四十二名、そのうち四十一名がこの会に参加されました。上は三十五歳から下は十八歳まで、中には住職の方もいればまだ学生の者もいるという幅広い会となりました。

報告(眞間 馨)

女子バスケットボール部

(田中光弘先生)

十月十日(土)

用賀「笑笑」

体育館に、懐かしい声がかき渡りました。

今後はこの会を定期的なものとし、駒大高校の発展、更には曹洞宗門の発展につくしていきたいと思います。

報告(加藤寛隆)

男子バスケットボール部

(眞間 馨先生)

七月三十日(土)

「母校・大体育館」

男子バスケットボール部は毎年七月の最終土曜日にOB会を行っています。本年も二十名程のOBが集まり、午後

校友会活動報告

関東大会・出場

体操競技部

男子個人

一年B組近藤聖志君

六月三日(金)～五日(日)

山梨県、緑が丘公園体育館

ソフトテニス部

団体

個人

三年A組木虎 誠君

三年G組高田尚弘君

二年E組安居院広道君

二年K組二見駿吾君

一年一組本田優太君

一年一組秋元祐介君

六月三日(金)～五日(日)

神奈川県小田原市「小田原テニスパーク」

バレーボール部

個人

六月三日(金)～五日(日)

埼玉県越谷市「体育館」他

三年D組五味良介君

三年D組伊藤伸賢君

三年C組玉井 郷君

三年D組齋 行君

六月三日(金)～五日(日) 群馬県前橋市「群馬県総合スポーツセンター」

陸上競技部

4x400mリレー

三年D組齋 行君

国民体育大会・出場

ソフトテニス部

三年A組木虎 誠君

二年K組二見駿吾君

十月二十二日(土)～二十七日(木) 岡山県岡山市「浦安総合公園テニスコート」

ソフトテニス部

三年A組木虎 誠君

二年K組二見駿吾君

九月二日(金) 東京都渋谷区「国立代々木第二体育館」

ソフトテニス部

三年A組木虎 誠君

二年K組二見駿吾君

平成十七年度諸会議報告

重役会

四月六日(水)六時

「議事」
平成十七年度・役員改選の審議

役員総会

五月二十一日(土)四時

同窓新報・今号にて報告

常任幹事会

第一回

五月十三日(金)六時

「議事」
平成十六年度・事業報告案の審議・承認

平成十六年度・決算報告案の審議・承認

平成十六年度・会計監査報告の承認

平成十七年度・事業計画案の審議・承認

平成十七年度・事業予算案の審議・承認

役員改選の審議

創立五十五周年(記念品)の審議

「議事」
平成十六年度・事業報告案の審議・承認

平成十六年度・決算報告案の審議・承認

平成十六年度・会計監査報告の承認

平成十七年度・事業計画案の審議・承認

平成十七年度・事業予算案の審議・承認

役員改選の審議

創立五十五周年(記念品)の審議

「議事」
平成十六年度・事業報告案の審議・承認

平成十六年度・決算報告案の審議・承認

平成十六年度・会計監査報告の承認

平成十七年度・事業計画案の審議・承認

平成十七年度・事業予算案の審議・承認

役員改選の審議

創立五十五周年(記念品)の審議

「議事」
平成十八年度役員総会の日時について審議・決定

平成十八年度事業報告案の審議

退職慰労金の審議・決定

役員会

第一回

四月二十二日(金)六時

「議事」

十二月二十一日(火)六時

創立五十五周年実行委員会

六月四日(土)六時

創立五十五周年・記念総会・記念式典の準備

創立五十五周年記念総会

六月十一日(土)四時

創立五十五周年記念式典

六月十一日(土)五時

同窓新報・今号にて報告

会費・寄付金納入者芳名

平成十七年二月から平成十八年一月初旬までに納入された方々です。今回も複数年度分納入された方がいらつしやいますが、詳細は省略させていただきます。

会費納入者(敬称略)

〔二期〕松本勇・水島貞夫・前尚史・宇津木茂・佐藤園枝

山下義明・河野純香

〔二期〕石井清繁

〔三期〕前川豊・橋本信義・島田寿三・谷口法山・鳥澤俊寛・大谷康憲

〔四期〕田上太秀・谷口武

〔五期〕小川宏・伊藤公夫・戸澤和道・真田治孝

〔六期〕堀秀男

〔九期〕高村仁

〔十期〕向井三陽・徳山康二

高橋洋祐・篠誠次

〔十一期〕杉山孝・日南田義一・宮本弘賢

〔十二期〕松井道孝・鈴木正義

〔十三期〕表勝昭・酒井和臣

堤崇・成田忠志

〔十四期〕諸岡泰寿

〔十五期〕清野幸俊・松山克雄・宮田利徳・小林仁・池口忠信

〔十六期〕矢部信雄・倉本澄夫・操優一・松山登・松村喬

〔十七期〕野村利明・鹿島廣盛田昇・井上清

〔十八期〕坂田勝夫・神田孝山崎敬三・秋成知道

〔十九期〕塩入基臣・佐々木俊道・斉藤広志・岡部博文・持田文雄

〔二十期〕星野隆光・中川健二・荒井伸夫

〔二十二期〕柴田晃伸・深谷吉裕・山崎猛・高橋正之

〔二十三期〕土橋孝徳・伊藤良一

〔二十四期〕中川宙・広瀬昭

博・森吉仁・野本育・志田英郎

〔二十五期〕高村輝久・浜崎保春

〔二十六期〕尾澤克広・宮路典行・椎名伸吉

〔二十七期〕田崎博識・上條晴久

〔二十八期〕野原正恵・鳥澤正臣

〔二十九期〕飯島秀剛・菊地茂雄

〔三十期〕長瀬恵則・岡部武北井敏英

〔三十一期〕矢口敦弘

〔三十二期〕遠藤広一

〔三十三期〕今井誠司

〔三十五期〕吉田正幸

〔三十七期〕猪俣恭幸

〔四十期〕阿彦尚志・羽場敬仁

〔四十一期〕松本一郎・原田寿一・小宮道夫

〔四十二期〕小柳智海

〔四十三期〕田島寛之・野村利和

〔四十四期〕山下大・久野昭紀

〔四十五期〕市原英典

〔四十六期〕松本勇樹(白石)

〔四十七期〕木村修

〔四十八期〕長山靖・市原武史・大村慎太郎・牧野高子

〔五十一期〕杉村大輔・大村俊一・勝川孝一・坂田英明

〔五十二期〕光田杏奈

〔五十三期〕宮路直樹・小西恵太

寄付金納入者(敬称略)

〔三期〕鳥澤俊寛

〔十二期〕松井道孝

〔二十二期〕深谷吉裕

〔二十三期〕伊藤良一

〔二十八期〕鳥澤正臣

〔四十一期〕松本一郎・小宮道夫

〔四十八期〕牧野高子

旧教職員(敬称略)

旧職員の方からも寄付を頂戴致しました。

後藤啓道・来馬規雄

若月正吾

ありがとうございます。

事務局より

「名簿カード」記入のお願い

住所を変更された方、勤務先や進路先が変更になった方は、「名簿カード」にて、お知らせ下さい。

事務局では名簿の正確を期すために、会員名簿への変更作業を行っております。

なお、返送していただきました「名簿カード」や「名簿」につきましては、個人情報保護法により、同窓会活動(同窓新報の発送など)以外には一切使用いたしません。

ご協力をお願いいたします。

八転七起

健康志向の友人が、沖縄のもろみ酢を愛飲していて、「継続は力なり」と、その効果を日々推奨。「体が軽くなったし、立ちくらみも」などなど。素直に聞き「何事も結構」と思うべきか。今の風潮は、自己責任と権利義務が強く唱えられている。

今年四月に施行された「個人情報保護法」は、他人が勝手に自分の個人情報を承諾無しに使用することに制限できるすばらしい法律である。しかし、物事を四方八方つまり、上・下・左・右と見方を変えてみるとそのものが一つにならない多面性となることが多いのだらうか。まして、他人が使えばさらに訳のわからない世界に入ってしまう。使う側も使われる側もモラルを守っていけばと思うけど、どこの誰かわからないが、傍若無人で腹が立つ。

「同窓会創立五十五周年記念総会」が、六月十一日(土)母校で行われ無事終了した。天気も梅雨空で心配したが降らず、大勢の同窓生が、恩師を囲んで和やかに過ごした一日だった。この日の集まりは、年の隔てがあっても人・人・人。そのつながりがうれしく、感銘した一日であった。(あらい)

編集局より

会員の皆様
投稿をお待ち
します